

協約・協定改訂第6回団体交渉

**暑さ対策に万全を期せ！
安全を損ねる添乗・試問は止めろ！
希望者全員を専任社員としろ！**

社員の気持ちを損ねない協約の大幅改善回答をせよ！

9月15日、協約・協定改訂第6回団体交渉を行ない、労働条件、専任社員に関して、安全問題など59項目について議論を行いました。

私たちは、今回も職場で発生している様々な問題点について、社員の切実な思いを会社に意見しました。しかし、会社は相変わらず社員の気持ちに立った回答はせず、特に安全問題では、実際に行われている安全を損ねる添乗や試問の実態を認めようとしませんでした。中でも、毎回試問される人と、全くされない人がいる実態について、どこが必要な試問というのでしょうか。まして、規程に書かれている「1口試問」に違反し、3口も4口も試問をすることなどもってのほかです。しかし会社は、事実を真摯に受け止めず、業務上必要だから実施しているとの一点張りでした。私たちは皆さんの気持ちに立って、皆さんの思いを意見として会社にぶつけてきました。そして今日9月16日会社回答が出されます。

会社が社員のことを思っているのなら、労働条件や手当、環境の大幅な改善をするはずですが、そうでないのなら極めて冷めた回答になるでしょう。

私たちは、今後も皆さんの思いをしっかりと会社につけていきます！

会社は職場の声を聞け！

- ◆今年も社員が倒れた。暑さ対策に万全を期せ！
- ◆白いワイシャツを制服として位置づけていないのなら強要するな！
- ◆社員を信頼して新幹線乗換え改札口の利用制限を止めろ！
- ◆全てのテレビを地デジ対応とせよ！
- ◆労組対策的な添乗は止め、全ての希望者を専任社員として採用しろ！
- ◆専任社員の基本給に格差はつけず、一律20万円とせよ！
- ◆教育なき再教育は止めて、乗務員職を剥奪した社員を復帰させる！
- ◆早急に名松線を全線運転再開させよ！
- ◆ATS-P Tの教育を十分に行い、速度低下は常用ブレーキとしろ！
- ◆運転士の基本動作を複雑化せず、喚呼用語などは簡素化せよ！